

大船渡だより

大船渡ベースの活動紹介

道の駅OPEN

感謝を込めて...

ベース横にきれいに陳列、整頓されていた長靴の処分と、長靴置き場の撤去作業を行ないました。震災直後は漁業支援や農業支援、がれき撤去、泥かきなどで毎日のように大活躍だった長靴も、震災から8年6ヶ月が過ぎ、やぶれたり穴が開いたり劣化が進み、使用できるものが4~5足程になっていました。



ボランティアさんによる工夫が凝らされた長靴置き場は、1足ずつ立てかけられるよう板を地面に打ち込んで作られており、屋根部分のトタンにもタッピングネジが丁寧に打ち付けられ、雨風にも耐えられるようにとても頑丈に作ってありました。土台となる木の部分にはシロアリ被害も見られ、解体中にグラグラと揺れるほど腐朽も進んでおり、殺虫剤を振りかけたりしながらの撤去作業となりました。



ボランティアさんへ感謝しながら作業を進め、跡地には、スタッフが自宅から持って来たマリーゴールドをプランターに植えて置きました。青々とした葉っぱに黄色やオレンジの花がきれいに咲き誇っています。

子どもたちと共に



大船渡教会支援の一環として、7月から月に1度、陸前高田市のパガサ会のブロックロザリオに合わせて、初聖体の準備を行なっています。現在は、小学1年生から中学2年生までの8名と、初聖体を終えた子どもたちが、毎回数人参加しています。

この活動には、仙台教区第3地区のパトリック神父様や、初回には元スタッフのシスター大串が参加され、これまでに3回行なわれました。

今回の初聖体の準備では、親は自分にとって大切なもの、洗礼の恵みと信仰をくださったこと、親から与えられた

『いのち』と受洗により『神様のいのち』を頂き、その2つの『いのち』を生きること、神さまはこの世を愛しておられ、一人一人を愛しておられること、教皇様はみんなのお父様であることなどを話しました。

初聖体は、来年の4月19日を予定しています。この活動を通して、子どもたちが集うことで教会の仲間づくりを目指し、将来の大船渡教会のためにつながるよう、願っています。

地域のイベントや活動紹介

市内一斉の避難訓練

9月29日(日)、大船渡市の津波避難訓練が行われました。東日本大震災以前は、チリ地震津波が5月24日の早朝だったことから、毎年その日に近い日曜日の早朝に実施されていましたが、震災後は国や県と協力して実施するため変更になり、秋に行なわれることが多くなりました。



今年はより多くの市民が参加できるように開始時刻を1時間繰り下げ、午前7時30分からの開始になりました。そして今回は、「三陸沖を震源とする震度6弱の地震が発生。大津波警報が発表され、市は住民の命を守るため、緊急避難指示を発令。市内では最大10mを超える津波が襲来した。」との想定で行なわれました。ベースに近いカトリック大船渡教会と海の星幼稚園は近隣住民の避難場所に指定されており、津波警報のサイレンが鳴り響くと、住民さんが続々と避難してきました。ベースのスタッフも参加しました。集まった方々はあの3・11を思い出し、それぞれの体験を話し合っていました。消防団員が人数を確認し、訓練の大津波警報は午前8時50分、解除されました。

大船渡市の元中心地の様子 (2019/10/11 撮影)



ボランティア登録者数
男性 665人
女性 1379人
⇒ 合計 2044人
◆ 9月1日~9月30日
ボランティア数
男性: 5名
女性: 5名

大船渡ベースでは、災害公営住宅やベース内での『サロン活動』(手芸サロン・ちぎり絵教室・抹茶サロン・ママサロンなど)や、在宅訪問など、地域の方に寄り添う活動を主として行っています。また、復興状況をご自身の目・肌で感じていただけるよう、『被災地見学』を活動に組み込んでいます。興味のある方は、是非一度ボランティアにご参加下さい。
※詳しくは、お気軽にお問い合わせ下さい。

カリタス大船渡ベース 地ノ森いこいの家
〒022-0002 岩手県大船渡市大船渡町字地ノ森43-2
電話・FAX: 0192-47-4737(9:00~18:00) 急用時: 090-5666-1747
Eメール: ofunatobase@gmail.com ●ブログURL: http://ameblo.jp/ofunatobase/